



独立行政法人国立病院機構  
東埼玉病院だより

発行日 平成31年3月  
発行人 正田 良介  
〒349-0196  
埼玉県蓮田市黒浜 4147  
電話 048-768-1161  
<http://esaitama-nho.jp/>



2019

3

目次

リハビリ科 地域連携勉強会 . . . . . 2	看護学生フォーラム . . . . . 6
ワゴンサービス . . . . . 3	院長の言葉 . . . . . 7
重症心身障害病棟 成人式 . . . . . 4	クヌギの椅子 . . . . . 7
ボランティア交流会 . . . . . 5	看護部からのお知らせ . . . . . 8
一年目職員院内研修 . . . . . 6	病院アクセス . . . . . 8



## リハビリテーション科 地域連携勉強会

当院のリハビリテーション科病棟に入院される患者さんは、主に脳卒中や骨折等によりある日突然体が動かなくなった方が、救急病院を経て当院へ転院しリハビリテーションを行い、なんらかの障害が残りながらも在宅へ戻ります。そんな患者さんは救急病院、回復期病院、在宅という環境の変化と、それぞれ多くの専門職種に関わります。

私たちは、一人の患者さんに関わる多くの専門職種のうちほんの一部です。しかしその一人の患者さんに関わる者として、知識の共通理解や職務の相互理解は医療連携にとって非常に大切です。そのため、年に2回「顔の見える連携」を目指し、院内外及び多職種の方々が出席し、声を交わす参加型勉強会を開催しています。

今回は目に見えにくい障害の一つ、「心理」について『障害受容～患者の気持ちの変化に寄り添う～』をテーマとし、グループディスカッションを行いました。

多くの方々が有意義な時間を過ごせたと実感され、普段関わりにくい他施設の他職種と関わり、一人の患者さんを通じた広い見聞を得ることができました。







## ワゴンサービス

### ～カレートッピングコンテスト～

今回のワゴンサービスでは、当院筋ジストロフィー病棟にてカレートッピングコンテストというイベントを開催しました。患者さんよりカレーにトッピングしてほしい食材を応募していただき、その結果「主菜部門」「野菜部門」「その他の部門」に分けて投票、上位の食材をワゴンサービスにて提供しました。

入賞食材は「主菜部門：豚カツ」「野菜部門：コーン、まいたけ（形態調整食はなす、ホワイトアスパラ）」「その他部門：チーズ」となりました。ワゴンサービス当日は、病棟の食堂や病室にて、主食、カレー、豚カツを盛付けたお皿にとろけるチーズ（形態調整食にはチーズソース）のトッピングを行いました。入賞食材が提供されたということもあり、患者さんからは大好評をいただくことができました。今後も、患者さんが楽しめる企画やお食事提供をしていきたいと思えます。



### ～形態調整食～

#### ソフト食



#### 粗キザミ食



#### ペースト食





# 重症心身障害病棟行事

## ～成人式～



平成31年1月16日(水)、当院重症心身障害病棟で今年成人を迎えられる2名の成人式を執り行いました。成人者とご家族のほか、保護者会会長の小栗様、蓮田特別支援学校の校長先生はじめ恩師の先生方5名、当院からは院長や小児科医長等多くの来賓の方が列席されました。

新成人となられたお二人は少し緊張した面持ちでご家族と共に入場されました。来賓や恩師からのお祝いの言葉をいただき、記念品の贈呈を受けました。新成人の紹介スライドでは、赤ちゃんの頃から現在までのほほえましい写真が画面に映されると、会場が和やかな雰囲気に包まれました。また、家族からの言葉では、言葉の1つ1つからお子さんへの愛情が感じられ胸が熱くなりました。

イベントのくす玉割りでは、二つのうち一つのくす玉が割れないというハプニングがありましたが、なんとか割ることができ安堵の声と笑いがあふれました。

成人、おめでとうございます!!



## ボランティア 交流会

平成31年3月7日(木)、『ボランティア交流会』を開催しました。2階病棟(筋ジストロフィー)または3階病棟(重症心身障害)で活動されているボランティアの方を対象に、日頃の感謝の気持ちを伝え、交流の機会を持つことを目的として、毎年開催しています。当日は団体と個人のボランティア、併せて15名の方がご出席くださり、病院からは正田院長をはじめ幹部の方と、各病棟師長、療育指導室職員が参加しました。

交流会では例年、長期に渡って活動を続けておられるボランティアの方を対象に、感謝の思いを込めて、感謝状や表彰状を贈呈させていただき、今回は9名の方を対象に授与式を行いました。対象の方の中には10年以上、活動されている方もおられて、感謝の言葉ありません。

感謝状授与のあとは、「埼玉県民活動センター」と「蓮田市社会福祉協議会」よりご講演をいただきました。県民活動センターが展開するボランティア育成の取り組みや、蓮田市のボランティアの現状に関するご講演など、

貴重な講演内容にボランティア・職員ともに興味深く耳を傾けていました。

会の最後にはボランティアの方と病院職員とで茶話会です。和やかな雰囲気の中、あちらこちらから楽しそうな話し声が聞かれ、ボランティアと病院との親密感が高まるような感じを受けました。

ボランティアの力によって、利用者さんの生活には日々、楽しみが生まれています。

しかし、ボランティアがいることの意義はそれだけではありません。時には、ボランティアを通じて、地域(社会)が疾患や障害への理解を深め、多様性を認めることに繋がります。また時には、患者さんがボランティアさんを励まして力づけ、人間同士の新しい絆を育むことにも繋がるのではないかと思います。ボランティア交流会は来年も開催を予定しています。ボランティアの方との関係を末永く保つため、交流会が一つの基盤となれるよう、今後も継続していきたいと考えております。



## 一年目職員院内研修



多職種間で交流を深めるため、現在の職種一年目の看護師、理学療法士、作業療法士、児童指導員、薬剤師を対象に各グループに分かれ、「プロってなんだろう？」というテーマで KJ 法を用いてディスカッションを行いました。

私たちの班で出た意見を大きくグループ分けした時に、最も意見が多かったのは「専門的な知識・技術」で、他にも「積極性」「コミュニケーション能力」などがプロとして必要であるとの意見でまとまりました。私は知識があることや向上心があることなど、自分の能力を高めていくことがプロだと思っていたので、患者さんへの対応力や柔軟性に欠けていることに気がつくことができ、良い刺激になりました。

看護師は患者さんの今の状況や環境、性格などを、薬剤師は薬の相互作用や副作用などの情報を見ていて、実際働いているときもそういった視点が違うからこそそれぞれの専門性が発揮されるのだと感じ、多職種連携の大切さを学びました。

今後、専門的な知識を身につけることはもちろんのこと、相手の話にしっかりと耳を傾け、信頼関係を築いていきたいです。

晴天に恵まれた3月9日、舞浜で途中下車したくなる気持ちをぐっと堪え、幕張で行われる毎年恒例の看護学生フォーラムに参加してきました。

「慢性期看護に興味がある」「実習で東埼玉に行った人から、とても良い病院だったと聞いた」という学生が来ると、嬉しくてニヤニヤしながら当院の魅力を熱く語ってきました。

今の学生は親からの愛情をたくさん受け育ってきた分、人に優しくできるでしょう。挫折には少し弱いかもかもしれませんが、一緒に乗り越え、「人生を考える看護」ができる看護師に、大切に育てたいと思います。

「東埼玉で働きたい」という一人でも多くの方が来てくれることを願っています。

## 看護学生フォーラム

### ～就職説明会～





## 平成 30 年度（平成の時代）を終えるにあたって考えること

昭和の時代には、患者さんの生命をひたすら守ることが医療者の使命でした。それは、本来もっと長生きできるはずの人たちが、病気やケガによって命を落とすことがないように頑張ることが必要であったからです。ですので、当時から医療者の最終目標は、患者さんが「老衰」で亡くなることと個人的には考えていました。ただ、当時は死亡診断書の診断名に「老衰」と書くと、上司から「きちんと診断をつけていない」と叱られました。

平成の時代におきた高齢化社会の急速な進行は、本当の「老衰死」の患者さんを生み出しているように思います。それと平行して、「生命」を長らえるのではなくて、「人生」をどのようにあるべき姿で使ってもらうのかを考える医療に変化してきていると感じています。この点では、「Narrative（ナラティブ）」という患者さん個々の人生の背景まで考えた医療の提供が必要となりますが、これと対をなす「Evidence（科学的根拠）」

に基づく医学的に正しい医療が提供されるという前提は平成の間に常識となっています。

当院は、承認されている公的医療機関等 2025 プラン（次の時代への公開されたプラン）に従い、今年 2 月から地域包括ケア病棟 24 床の運用を開始しています。当院が行っている在宅訪問診療のバックアップベッドの機能をもっており、回復可能な病気の治療と看取りの場所となることもあり、在宅医療や施設での療養と連動して機能することを目標としています。平成の次の新たな時代に取り残されないように病院機能を維持・強化して、今まで行ってきた医療（民間では行えないセーフティネット系の政策医療など）を発展させていきたいと考えています。



国立病院機構東埼玉病院 院長 正田 良介

## ～クヌギの椅子～

クヌギの輪の会と自由の森学園の高校生が作成したクヌギの椅子が寄贈されました。

この椅子は当院敷地内の道路改良工事に伴い伐採した大きなクヌギの木を使用して作成されました。とても素敵な椅子に病院から感謝状が贈られました。

椅子は病院内と病院入り口にある公園に置かれています。



## 看護部からのお知らせ

# 看護師募集・介護士募集

～東埼玉病院をご覧になってみませんか～

### 看護師就職説明会のご案内

#### 開催日時

平日は随時受け付けています。時間は10:00～11:30です。

#### 内容

- ①病院の概要      ②看護部の概要      ③福利厚生について  
④病院見学      ⑤インターンシップについて

### 看護師インターンシップのご案内

独立行政法人国立病院機構東埼玉病院看護部では、看護学生の皆様を対象にインターンシップを実施しています。実習とは違う視点で臨床の場を見ていただき、当院の機能や看護の魅力をお伝えしたいと考えています。ぜひ就職の選択に役立ててください。

**期 間** 春休み期間、夏休み期間、冬休み期間等長期休暇中のうち半日～2日間。  
上記以外にも随時実施しておりますので、ご相談ください。

**方 法** 希望する部署において、看護師と共に行動しながら看護体験を行います。

**時 間** 9:00～16:00（オリエンテーション、病院案内、看護体験）

持ち物：白衣 靴 筆記用具 昼食を各自ご持参ください。

個人情報保護：応募された方の個人情報は、インターンシップのみの使用で、そのほかの目的で使用することはありません。

### 介護士病院見学会のご案内

#### 開催日時

平日は随時受け付けています。時間は10:00～11:30です。

#### 内容

- ①病院の概要      ②福利厚生について      ③採用試験について  
④病院見学      ⑤就職相談

#### 対象者

介護福祉士または初任者研修修了者



#### 問い合わせ・申し込み先

東埼玉病院 副看護部長

☎ 048-768-1161

ホームページにも詳しく

掲載しています

<http://esaitama-nho.jp/>

## 東埼玉病院へのアクセス

独立行政法人 国立病院機構

住所：埼玉県蓮田市黒浜4147

電話：048-768-1161

### 公共交通機関を利用した来院方法



#### 【バスのご案内】

☆「蓮田駅東口」2番乗り場から朝日バス「江ヶ崎馬場」行、あるいは「国立東埼玉病院」行、国立東埼玉病院(約15分)下車

☆「岩槻」朝日バス「国立東埼玉病院」行、国立東埼玉病院(約30分)下車